

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新**宿泊施設等デジタル活用応援補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 政策企画係 電話番号：058-272-1111 (内 3057)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルスとともに生きる「新たな日常」において観光振興を図るため、これまで宿泊施設における感染拡大防止対策を重点に支援してきた。

一方、「新たな日常」においては、感染拡大防止の観点から客室稼働率を下げている宿泊施設もあることに加え、これまで平日の宿泊需要を支えていた外国人観光客や団体旅行も感染前の水準まで回復するには時間を要すると予想され、観光産業の回復のためには、平日の誘客対策が重要である。

こうした中、国においては、新たな視点に立った方策として、ワーケーションの推進を打ち出しており、今後、そのための受入環境整備、さらには感染防止対策の一層の促進のため、デジタル技術の活用が不可欠である。

このため、宿泊施設等におけるデジタル技術の活用を支援し、観光産業の更なる回復を目指す。

(2) 事業内容

県内宿泊施設等がワーケーションの受入環境整備や感染防止対策のために実施するデジタル技術の導入などに対する助成

【補助対象者】

県内の宿泊施設等のうち、国の「宿泊施設を核とした地域における新たな観

光ビジネス展開支援（仮称）」の採択を受けた者

【補助対象事業】

○国の採択を受けた事業のうち、デジタル技術の導入経費（自己負担分）

補助率：1 / 3 以内（上限 500 千円）

（3）県負担・補助率の考え方

本県観光産業の回復のため、県内全域の宿泊施設等を対象に支援を行うものであり、県が率先して実施すべきものとして、県負担は妥当。

（4）類似事業の有無 なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	30,000	宿泊施設等のワーケーション受入や感染防止対策への支援
合計	30,000	

決定額の考え方

国補助金への上乗せ助成のため、実施を見送ります

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

（2）国・他県の状況

国や一部の他県でも、ワーケーション等の推進に向け取り組まれている。

（3）後年度の財政負担

なし

（4）事業主体及びその妥当性

コロナで大打撃を受けた本県観光産業の回復は、観光産業の基幹産業化を目指す本県の重要な経済対策であり、県負担は妥当。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	宿泊施設等デジタル活用応援補助金
補助事業者（団体）	国の「宿泊施設を核とした地域における新たな観光ビジネス展開支援（仮称）」の採択を受けた県内事業者。 （理由） 県内宿泊施設等におけるデジタル技術を活用した「新たな日常」への対応を支援し、観光産業の更なる回復を図る。
補助事業の概要	国でも普及を目指すワーケーションの受入環境整備や、更なる感染拡大防止対策の徹底を図るため、特にデジタル技術の活用にて支援する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例： ） 1 / 3 以内
補助効果	コロナ禍における最大のアピールポイントとなる「安全・安心な旅の提供」を一層後押しするとともに、平日、閑散期の宿泊需要の創出にも資する。
終期の設定	終期 令和3年度 （理由）

（事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>県内宿泊事業者等における、ワーケーションの受入環境整備及び安全・安心対策への一層の支援により、平日及び閑散期を含めた国内外の観光需要の喚起、ひいては観光関連産業の早期回復を目指す。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1年度末)	目標 (R2年度末)	目標 (終期)
①観光消費額	2,933 億円	2,200 億円	3,300 億円
②観光入込客数（実数）	4,603 万人	2,900 万人	4,900 万人

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 30,000 千円
指標①目標					3,300 億円
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率				(推計値) %	(推計値) %

指標②目標					4,900万人
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率				(推計値)	(推計値)
				%	%

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	○
コロナ禍において、今後観光需要を速やかに回復させるには、平日需要の取り込みと、安全・安心な旅の提供が有効であり、そのために行う、県内宿泊施設等の対策を支援する必要性は高い。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
